

神戸女学院大学

人間科学部 心理・行動科学科

精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第2号

大阪府 東大阪市にある小阪病院へ見学実習をさせていただきました。



9月下旬より後期授業が開始しました。今回は3回生の授業(精神保健福祉援助実習Ⅰ)の様子をお伝えします。

さわやかな秋晴れのもと、今年度も小阪病院にて見学実習をさせていただきました。

実際にデイケアセンター及び地域生活支援センターの建物を訪れることができました。デイケアでは各グループのお部屋に入らせていただき、機能や役割の違いについて実際に目で見て感じることができました。また、座学では学びきることのできない、生活訓練を受講されている利用者の方の熱心な姿勢を拝見し、現場の“リアル”を身をもって感じられる場面でした。

初めての見学実習ならびに、多数の精神保健福祉士の方と会いする機会に、緊張感が持続していた様子でした。



学生からPSWのみなさまへ質疑応答(一部ご紹介)

Q1: 関係機関との連携の際に意識していることは何ですか？

A1: クライアントの強みを伝えること。そのためにはクライアントをしっかりと理解する必要があり、日頃からの関係構築が重要となる。

Q2: 精神保健福祉士としてのやりがい・従事してよかったと思える瞬間は？

A2: “これが自分の強み”と思いつけるのではなく、紡いでいくようなイメージ。時にはしんどいこともあるが、諦めず、腐らないこと。“私だからこの支援ができた”という自己満足ではなく、クライアントが自ら相談できる場所や力を養われたと気づけた瞬間。



Q3: 来年の精神保健福祉援助実習に向けたアドバイス

A3: 様々なことに興味を持つこと。「知りたい!」「やってみよう!」と、楽しむ気持ちを持って。良い意味で遠慮をしないこと。

実習では毎日振り返り(フィードバック)をしていただけるが、就職してからは通常行われぬ貴重な経験。自ら学ぼうとする姿勢を大事にしてほしい。

大変お忙しい中、学生のために貴重なお話と見学のお時間を設けていただき、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。